



# 原子力産業新聞

2012年12月13日

平成24年(第2651号)

毎週木曜日発行

購読料1年分前金(消費税、国内送料込)

会 員 9,500円(1部220円)

非会 員 15,000円(1部350円)

(当会会費は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895  
電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス [shinbun@jaif.or.jp](mailto:shinbun@jaif.or.jp)

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

## 敦賀2号下に「活断層」

### 規制委評価会議が見解 原電は否定し、公開質問状

原子力規制委員会は10日、日本原子力発電・敦賀原子力発電所の敷地内破砕帯調査に関する評価会合を開き、有識者らによる現地調査結果を踏まえ、2号機(II左写真)原子炉建屋下に存在するD-1破砕帯が活断層として活動し、近傍の浦底断層と同時にずれを生じたと考えられるとの見解で概ね一致した。敦賀発電所は現在、1、2号機とも定検停止中だが、同日の審査状況を受け、田中俊一委員長は、「今のままで再稼働ということでの安全審査はとてできない」と所感を述べた。原電は見解に納得せず、公開質問状を提出し、今後さらに追加調査を行うこととしている。



敦賀発電所敷地内破砕帯調査を率いた島崎邦彦委員長代理は、十二日の規制委員会定例会合で、評価結果について社会の関心が非常に高いことから、取り急ぎ口頭での報告を行った。原電質問状への対応も含め、近く正式な報告書を取りまとめ

ることとしている。敦賀発電所敷地内破砕帯に関しては、旧原子力安全・保安院による行政指導下、耐震バックチェックの一環として、評価の妥当性について、専門家からの意見聴取が行われていたところ、今夏、浦底断層の動きにひ

きずられた可能性がある」との指摘を受け、原電では追加調査を計画・実施していた。規制委員会発足後、十月十七日、敷地内破砕帯評価に関する有識者会合の設置を受け、敦賀発電所については、関西電力大飯発電所に続く二サイ目として、現地調査が十二月一日、二日に実施、十日に評価会合が行われ、原電からは破砕帯の連続性評価の考え方、調査対象の選定の仕方などを説明、トレンチを掘り



た。有識者メンバーは、島崎委員長代理のほか、鈴木康弘・名古屋大学減災研究センター教授、堤浩之・京都大学理学部准教授、藤本光一郎・東京学芸大学教育学部准教授、宮内崇裕・千葉大学理学部教授。評価会合では、D-1は活断層である可能性が

高い。安全側の判断が重要、「浦底断層との連動についても」「原電敷地内にこのような起震断層があることは脅威」といった意見が出された。原電側の追加調査の意向に対し、田中委員長は、「調査を続けるなら続けていただきたい」と述べ、島崎委員長代理に文書での取りまとめを求めた。会合終了後、有識者一同は記者会見に臨み(II右写真)、事業者による追加調査結果を待つこととしている大飯発電所と比べて審査が早かったのではとの質問に対し、島崎委員長代理は、「キチッとしたデータがそろっていれば意見は一致する」と述べ、現時点における科学的判断であること

を強調した。評価会合を受け、原電は「到底受け入れがたい」とのコメントを発表、十日には規制委員会に対し、

「評価会合を受け、原電は「到底受け入れがたい」とのコメントを発表、十日には規制委員会に対し、

「評価会合を受け、原電は「到底受け入れがたい」とのコメントを発表、十日には規制委員会に対し、

### 政府が事故調フォロー会議

座長に北澤氏 3月に報告書まとめ

長浜博行・原発事故担当相の下に設けられた「東京電力福島原子力発電所事故に関する有識者会議」(座長北澤氏)の初会合が七日、東



京・港区の三田共用会議所で開かれた(II写真)。座長に就任した北澤氏

は、「今回の福島事故で、原子力はフェールセーフにできていない未完の技術であることが明らかとなった。原子力は暴走する技術であったことを踏まえ、たまたま、いかに安全にリスクを下げてやっていけるか、しっかりと国民に見えるよう、他のエネルギーのリスクのことも考えながら検討して行きたい」と挨拶した。

政府事故調査委員長は、このことから、人の教育が

#### この一週間の出来事

(6日(木)~12日(水))

- ・学術会議哲学委員会が原発でシンポ(8日)
- ・東芝4足ロボットが福一2号で稼働(11日)
- ・規制委、もんじゅ点検超過で報告徴収(12日)

#### 原産新聞の紙面から

##### ◇国内ニュース

- ・福島第一で燃料取り出しなど計画前倒し(2面)
- ・新双葉地方町村会長に山田基星広野町長(2面)
- ・福島で放射線モニタリング国際WS開催(4面)
- ・蜂須賀禮子・大熊町商工会長に聞く(4面)

##### ◇海外ニュース

- ・英国の原子力供給チェーン行動計画(3面)
- ・英国の2サイトで運転期間を7年延長(3面)
- ・米規制委が洪水リスクで再評価を助言(3面)

## TNSは エネルギーエンジニアリングのあらゆるステージであなたをサポートします。



TNSは原子力・アイントープに関する高度な知識と技術を駆使し、設計から施設の廃止にいたるまでのあらゆる段階でサポート業務を展開するとともに、先端技術分野における研究・開発においても質の高いサポートを提供いたします。

<b>安全設計・評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設設計</li> <li>遮蔽設計</li> <li>安全評価</li> <li>RI施設の申請業務代行</li> </ul>	<b>研究及び技術開発サポート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究サポート</li> <li>技術開発サポート</li> </ul>	<b>工事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の保守・点検</li> <li>施設の解体工事</li> <li>施設の改造工事</li> </ul>
<b>施設の管理・運営</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模施設の運用・管理</li> <li>放射線管理</li> </ul>	<b>受託試験研究</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境物質の分析</li> <li>環境物質の挙動解析</li> <li>トレーサー試験</li> <li>解体廃棄物の管理特性試験</li> </ul>	<b>機器販売</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>放射線管理区域の空調機器の販売</li> <li>放射線管理区域用機器の製造・販売</li> </ul>

## TNS 東京エネルギー株式会社

東京本社：東京都台東区台東1-3-5(反町ビル7F) TEL.03(3831)7957  
 東海営業所：茨城県那珂郡東海村村松字平原3129-31 TEL.029(282)3114  
 つくば開発センター：茨城県つくば市緑ヶ原4-19-2 TEL.300-2646 TEL.029(847)5521  
 大阪事務所：大阪市中央区内本町1-2-5(YSKビル5F) TEL.540-0026 TEL.06(4792)3111  
 六ヶ所事業所：青森県上北郡六ヶ所村大字尾駱字野附1-4 TEL.039-3212 TEL.0175(71)0710